

中間検査チェックシート（木造3階建て・枠組壁工法）

板橋区都市整備部建築指導課

確認受付番号： 確認申請 ・ 計画通知 第 _____ 号

中間検査申請日 年 月 日

申請者： _____

中間検査日 年 月 日

工事監理者（中間検査申請書第一面に記載の工事監理者氏名）

このチェックシートは、中間検査申請書の第四面を補完するもので、記載事項は事実と相違ありません。

【特定工程が屋根工事の場合】

検査項目	内 容	検査日付		検査機関用			
		施 工 者	監 理 者	検査方法 A：目視検査 B：計測検査 C：監理者報告	結果		修正 月日
					一次 良否	二次 良否	
支持地盤	1 支持地盤の地耐力の確認（地盤改良等を含む）			C			
基礎	1 コンクリート、鉄筋、アンカーボルト（Cマーク表示品）の材質の確認			C			
	2 種類（布、べた、その他）の確認			C			
	3 形状、寸法の確認			C			
	4 配筋の確認			C			
	5 位置の確認（アンカーボルトの位置の確認も含む） 耐力壁の両端のたて枠の下部に近接した位置、隅角部、土台の継手及び土台切れの箇所、それ以外の部分においては、間隔2.0m以内の位置			C			
	6 鉄筋の定着、重ね継手、かぶり厚さ等の確認			C			
	7 鉄筋の乱れ、踏み荒らし、波打ち、たるみの有無等の確認			C			
	8 床下換気孔又はこれに替わるものの確認			A・B・C			
土台	1 材質の確認 土台が基礎と接する前には、防水紙、防湿フィルム（ポリエチレンフィルムの厚さ0.1mm以上）を敷く等の防腐措置			A・C			
	2 形状、寸法の確認 寸法形式204、206、208、404、406又は408の製材			A・B・C			
	3 位置の確認 土台の幅は、下枠の幅と同寸以上			A・B・C			
	4 隅部、T字部の仕口又は継手の位置、接合方法・状況の確認			A・B・C			
	5 防腐・防蟻措置の確認（工場処理による防腐・防蟻処理材）			A・C			
床枠組	1 材質の確認			A・C			
	2 形状、寸法の確認 寸法形式206、208、210又は212の製材を縦使いし、床根太相互の間隔は650mm以内			A・B・C			
	3 位置の確認			A・B・C			
	4 継手の位置、接合方法・状況の確認			A・C			
	5 床下張り（床根太、構造用合板等による）の確認 構造用合板は、表面繊維方向が床根太方向と直交、パーティクルボード及び構造用パネルは、長手方向が床根太方向と直交			A・C			
	6 防腐・防蟻措置の確認			A・C			
壁枠組	1 材質の確認			A・C			
	2 形状、寸法の確認 耐力壁の下枠、上枠、たて枠及び頭つなぎは、寸法形式204、206、208又は404、406、408の製材			A・B・C			
	3 位置の確認 外周部の主要な隅角部及び引抜き応力が大きいたて枠は、接合金物（ホールダウン金物等）で基礎と緊結 耐力壁の幅はその高さの1/3以上			A・B・C			
	4 耐力壁直下の床根太を構造耐力上有効に補強の確認			A・C			
	5 継手の位置、接合方法・状況の確認			A・C			
小屋組	1 材質の確認			A・C			
	2 形状、寸法の確認 たる木、天井根太は寸法形式204、206、208、210又は212の製材、相互の間隔は650mm以上			A・B・C			
	3 位置の確認			A・B・C			
	4 振止めの設置の確認			A・B・C			
接合部	1 基礎と土台（アンカーボルトの位置、接合状況の確認）			A・B・C			
	2 基礎と両端たて枠（ホールダウン専用アンカーボルトの位置、接合状況の確認）			A・C			
	3 両端たて枠と土台（接合方法・状況の確認）			A・C			
	4 両端たて枠と両端たて枠（接合方法・状況の確認）			A・C			
	5 たる木又はトラス（緊結方法・状況の確認）			A・B・C			
	6 屋根葺き材（緊結方法・状況の確認）			A・C			
不具合の処理及び検査結果、工事全般の考察							
添付図書							

検査担当者氏名 _____